

日本文化政策学会第17回年次研究大会企画フォーラム

市民参加型の 祭りによる 地域振興の 可能性

2024.
3/17
Sun



—阿波踊りの担い手に見られる
社会的価値を事例として—

祭りによる地域振興では、担い手の自発的な参加の誘発が事業の継続性に大きく関わってきます。文化資源そのものが持つ社会的価値に着目して、阿波踊りの担い手を事例に、フロアの皆さんと市民参加の誘因について議論をすることが目的です。

登壇者



ANA連
佐野 秀史 連長

徳島支店の支店長であった2014年に、ANAグループ社長からなるANA連を創設し、現在まで連長を務める。



瀬南なぎさ連
伊藤 弘美 連長

幼少期より阿波踊りを始め、2012年神楽川阿波踊り会を拠点に舞踏。瀬南なぎさ連の連長を務める。



藤巻連
超俊 巧 連長

徳島大学の学生であった際に阿波踊りに魅了される。2019年に徳島市西区を拠点に活動する藤巻連を設立、連長を務める。

【日時・場所】2024年3月17日（日）16:00～18:00

青山学院大学 17号館5階（教室は当日受付でお尋ねください）

参加費無料！

*本企画は日本文化政策学会第17回年次研究大会の一環ですが、企画フォーラムのみ参加の場合は参加費がかかります。

問合せ

企画代表：中村まい（お茶の水女子大学大学院博士後期課程）

✉️ mai430dance@gmail.com

☎️ 090-7573-0587

080-6779-4476

info@yokohama-awaodori.com
